

オペレーショナル・レジリエンス（オペレジ）の概要

- オペレジ（業務の強靭性・復旧力）とは、システム障害、サイバー攻撃、自然災害等が発生しても、重要な業務を、最低限維持すべき水準において、提供し続ける能力をいう。
- 既存のリスク管理（未然防止策）や、BCP（地震などの特定のリスク事象を想定した対応計画）は重要だが、想定外の事象が生じた場合に、金融システム安定上の重要な業務を提供できなくなるおそれ。**未然防止策を尽くしてもなお、業務中断が生じることを前提に、利用者目線で早期復旧・影響範囲の軽減を確保する枠組み**として国際的に議論されている。
 - ・ 2021年3月に、バーゼル銀行監督委員会が国際原則を策定。
- 本邦においても、各金融機関によるより良い実務の構築に向けて、論点・課題を整理したディスカッション・ペーパーに基づく意見交換を、金融機関や有識者で行う方針。

▼オペレジの基本動作

